

神々との物語

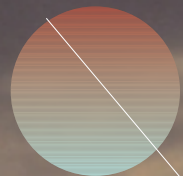
● 奥会津

見えざるカミの住まいは、自然界の全てに及ぶという。
この世ならぬものを映すという水にも、
小さな石くれにもカミがあるとすれば、
人間も又、自らの内にカミを内在させている。
だからこそ響き合う。

神々が棲む

陽の光の涯のない高みと、閉ざされた深い闇。天地に広がる無限の空間を漂いながら、そこかしこに神々の存在を感じることで、人間は心の平安を見つけてきた。

神々の律に添うことで苦しみの中にも喜びを見いだすことができた。



神々は自然の中に身を隠して、
自らの存在を主張しようとはしない。
人間が畏れを懐く場所の内奥に、
深々と坐して鎮まる。
見えない神々を見つめて暮らす人々の、
日々の声を拾った。

自然の中の神々

